

機械器具 54 医療用捲綿子
一般医療機器 医科用捲綿子 10172000

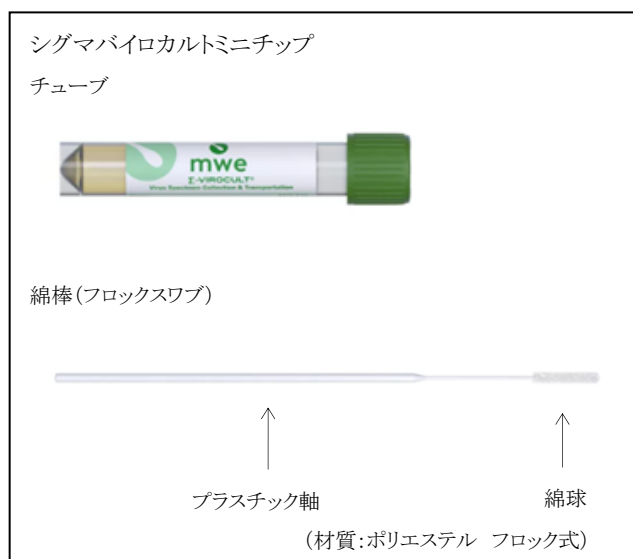
シグマバイロカルトミニチップ

再使用禁止

【禁忌・禁止】
再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品はウイルス検査材料の採取及び輸送を目的とし、綿棒と培地チューブが滅菌パックに入っている。綿棒には品質が均等で pH の影響を受けない化学繊維が使用されている。雑菌抑制剤としてクロラムフェニコール及びアムホテリシン B を含む液体培地を有する。綿棒の軸には折り目がついており、軸部分が折れるようになっている。本品及び本品の構成品は、単品で輸入し販売することがある。



培地成分（1L 中）

ラクトアルブミン加水分解物	3.0g	塩化カリウム	0.2g
リン酸水素二ナトリウム	1.15g	塩化ナトリウム	3.0g
塩化マグネシウム	0.1g	グルコース	1.0g
クロラムフェニコール	0.25g		
アムホテリシン B	0.003g	pH	7.3±0.3

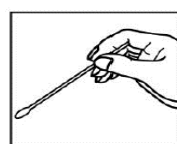
【使用目的又は効果】

本品は、検査のための試料を採取することを目的とした器具である。

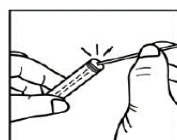
【使用方法等】



1) パック本体よりチューブを取り出す。平面に置き、キャップを緩めておく。

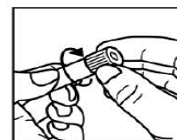


2) 綿棒で検体を採取する。チューブのキャップを開け、綿棒を挿入する。

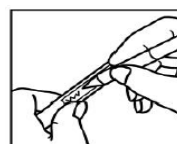


3) 綿棒の軸をチューブの内壁で押し曲げ、軸の折り目で折る。

※軸を折る際の操作について＜使用方法等に関連する使用上の注意＞を参照すること。



4) チューブのキャップを、しっかりと閉める。



5) ラベルに必要事項を記入し、ただちに検査室へ送付する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 軸を折る時に綿球をチューブの底面に付けると、軸のしなりの反動で折れた綿棒がチューブから飛び出してしまうことがある。綿球がチューブの底面につかないように、軸の折り目をチューブの縁に合わせて折ること。

【使用上の注意】

- 本品は、培地に抗生物質を含むため、細菌や真菌の輸送には適さない。
- 綿棒の軸はプラスチック製で直角に押し曲げると折れるので、検査材料の採取中に軸の切断が予想されるような部位への使用はしないこと。
- 検体を採取する前に軸を折り曲げたり、湾曲させたりして使用しないこと。

- ・ 検査材料の取扱には十分に注意すること。使用後のチューブ、綿棒はオートクレーブなどで滅菌処理してから廃棄すること。
- ・ 使用前に汚染のないことを確かめてから使用すること。
- ・ 検体採取時及びチューブ内へのスワブ挿入時に、キャップが汚染されないよう注意すること。
- ・ 検体採取後すみやかに検査すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法 : 5～25℃で保存(凍結しないこと)

使用期限 : 25 ヶ月

使用期限はラベルに記載

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

イワキ株式会社

<https://www.iwaki-kk.co.jp>

<問い合わせ先>

イワキ株式会社

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里四丁目 12 番 1 号

TEL 03-6733-0227 FAX 03-6733-0228

E-mail bio@iwaki-kk.co.jp

<製造業者>

Medical Wire & Equipment Company (Bath) Limited

(イギリス)